

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 4 119番	火事や救急の際に消防署や救急車を呼ぶための番号は119番です。110番は警察につながる番号なので、間違えないようにしましょう。
問2	答え 2 消火器	火災が起きたとき、まだ火が小さい段階で消し止めることを「初期消火」といいます。消火器は、誰でも持ち運んで操作できるように作られており、初期消火を行うためにとても大切な道具です。
問3	答え 1 近所の消防署と協力して活動する	消防署にはそれぞれ担当する地域がありますが、手に負えないほど大きな火災や緊急事態が起きたときには、隣の市町村の消防署とも協力して力を合わせ、人々の安全を守る仕組みになっています。
問4	答え 2 住民が安全に避難できるように誘導や助けをすること	災害時に警察官が現場へ向かうのは、人々の命と安全を守るためです。混乱が起きやすい緊急時に、住民が安全に避難できるよう現場で交通整理をしたり、道案内をしたり、救助活動を行ったりして、被害を最小限に抑える役割を担っています。
問5	答え 4 防犯訓練	学校などの場所で、実際に危険なことが起きたときどのように行動すればよいかを確認する活動を指します。警察官が学校を訪れて指導することもあり、子供たちが犯罪から自分の身を守る力をつけるために行われています。
問6	答え 4 巡回連絡（じゅんかいれんらく）	警察官が地域の軒一軒の家や会社などを直接たずねて、困っていることがないか聞いたり、犯罪や事故に巻き込まれないためのアドバイスをしたりする活動を「巡回連絡」といいます。
問7	答え 3 パトロール	警察官は、事件や事故を未然に防ぐために、町の中をくまなく見回るパトロールを行っています。この活動によって、地域の住民が安心して暮らせる環境が守られています。
問8	答え 1 緊急時に逃げ込める避難場所となるため	「こども110番の家」の大きな役割は、困ったときに助けを求められる安全な避難場所を提供することです。登下校の見守り活動と合わせて、地域の大人が協力して子どもたちを犯罪や事故から守るための大切な仕組みです。
問9	答え 2 火災の被害を最小限に抑え、避難する時間を守るため	防火とびらは単なる出入口ではなく、火災という非常事態に備えた安全設備です。火が広がるスピードを遅らせることで、建物の中にいる人が安全な場所へ逃げたり、消防隊が消火活動をしたりするための助けとなります。
問10	答え 3 消防署	火災が発生した際、一番に駆けつけて火を消したり、困っている人を助けたりするのが消防署の仕事です。警察署は事件や事故の解決、市役所はまちの運営、郵便局は手紙や荷物を届ける役割を持っています。
問11	答え 3 安全な場所と危険な場所の両方を書き込む	安全マップは、あぶない場所だけでなく、人通りが多くて歩きやすい安全な場所も知っておくことが大切です。両方の情報を整理することで、どこを通ればより安心かを知ることができるからです。
問12	答え 4 道路標識	道路標識は、道路のわきや上に取りつけられた板（看板）で、車を運転する人や歩いている人に、その場所での決まりや、先に危険があることを知らせて安全を守るためのものです。これらを正しく理解して守ることが、事故を防ぐためにとても大切です。
問13	答え 4 パトロール	警察官が町の中を歩いたり、車やバイクに乗って見回ったりすることを指します。地域の人々の目に見える場所に警察官がいることで、犯罪をしようとする人を思いとどまらせる効果があります。
問14	答え 2 地域の家や店が協力して、子どもが困ったときに助けてくれる場所	「こども110番の家」や「こども110番の店」は、子どもたちが不審者に声をかけられたり、トラブルに巻き込まれそうになったりしたときに、緊急で駆け込んで助けを求めることができる場所です。地域の一般の家庭やお店がボランティアとして協力しています。
問15	答え 4 火災報知設備	火災報知設備は、火事の発生をいち早く察知して、音や光で周囲に伝えるための大切な装置です。消火器は火を消すための道具であり、避難はしごや非常口は逃げるためのものなので、役割が異なります。
問16	答え 4 車や歩行者に自分の存在を知らせるため	自転車のライトには、前をたらずして道路の様子を見やすくするだけでなく、車を運転している人や歩いている人に「ここに自転車がありますよ」と自分の存在を知らせる大切な役割があります。これにより、お互いに早く気づくことができ、事故を防ぐことができます。
問17	答え 3 拾った人の名前や住所などの手続きをする	拾得物（落とし物）が届けられた場合、警察官は落とし主のもとに正しく戻すよう、届け出た人の情報を記録し、ルールに従って手続きを行います。個人の私的な願いをかなえたり、個人情報勝手に教えたりすることは禁止されています。

問1 建物に火災報知設備が設置されている一番の目的は何ですか。

1. 火事の発生を早く知らせて、安全に逃げやすくするため
2. 火を燃え広がらせないため
3. 消火活動を自動で行うため
4. 建物の防犯を強化するため

問2 警察は、事件が起きてから動くだけでなく、事件を未然に防ぐための活動も大切にしています。学校で子供たちに対して行われる、犯罪から身を守るための練習を何といますか。

1. 注意喚起
2. パトロール
3. 交通安全教室
4. 防犯訓練

問3 道路のわきや上に取りつけられている、絵や文字を使って、ルールや危険を伝えるための板（看板）のような目印を何といますか。

1. 交通ルール
2. 信号機
3. 安全パトロール
4. 道路標識

問4 作成した「安全マップ」を完成させたあと、地域全体の防犯のために最も大切なことは何ですか。

1. マップを自分だけの宝物として大切にしまうこと
2. マップの情報をみんなで話し合い、知らせ合うこと
3. マップを学校の校庭のすみっこに埋めること
4. マップを一度作ったら、もう内容を変えないこと

問5 道路を直す作業をしていて、いつもよりあぶない場所であることを運転する人に知らせる標識はどれですか。

1. 工事中
2. 横断禁止
3. 止まれ
4. 横断歩道

問6 消防団が火災や地震などの災害時に行う、大切な役割として正しいものはどれですか？

1. 新しい消防車を作るための工場働く
2. 消火活動や救助活動を行い、地域の人を守る
3. 火災の原因を調べるための裁判を行う
4. 火事が起きないように、消防署をすべて管理する

問7 交番の警察官が、地域の人から相談されたときに行う仕事として、正しいものはどれですか。

1. 個人の家のお手伝い
2. スーパーの特売品の値段調べ
3. お店の商品の宣伝
4. 道に迷った人の案内

問8 多くの地域では、もしもの火災にそなえて「防火水そう」が設置されています。どうして、ただの水道管だけでなく防火水そうが必要なのでしょう。

1. 水道の水をそのまま使うと、消防車のポンプが壊れてしまうから
2. 消防車が水を補給する場所を町中にたくさん作るため
3. 防火水そうのほうが、水道の水よりも火を消す力が強いから
4. 水道管が壊れて水が出なくなったときでも、消火活動を続けるため

問9 警察官が、お年寄りの家などを直接たずねて、犯罪や事故にあわないように気をつけることを伝える活動を何といますか。

1. 防犯訓練
2. パトロール
3. 交通安全運動
4. 巡回連絡（じゅんかいれんらく）

問10 街で拾った財布を届け出たとき、交番の警察官が行う対応として適切なものはどれですか。

1. 持ち主の代わりに買い物へ行く
2. 落とした人の住所を教える
3. 拾った人の名前や住所などの手続きをする
4. その場で財布の中身を分ける

問11 大きな火災が起きて、一つの消防署だけでは足りない場合、消防署はどのような工夫をしますか。

1. 近所の消防署と協力して活動する
2. 市役所を新しく建てる
3. 警察に消火をお願いする
4. 火が消えるまで待つ

問12 建物の中で、火事が起きたことを音や光を使って周りの人に知らせるための設備を何といますか。

1. 非常口
2. 避難はしご
3. 消火器
4. 火災報知設備

問13 「こども110番の家」のような場所が、地域の防犯において大切な理由として、最も正しいものはどれですか。

1. 緊急時に逃げ込める避難場所となるため
2. 大人たちが子どもを監視するため
3. 子どもがおこづかいをもらうため
4. 地域の家をすべてお店にするため

問14 火災が起きたとき、消防車が消火活動に使う水を「水道管」から取り出すための設備を何といますか。

1. 避難はしご
2. スプリンクラー
3. 防火水そう
4. 消火栓

問15 火災が起きたときに、消火器を使って行う「初期消火」について、正しい説明はどれですか。

1. 火が建物全体に広がってから使う
2. 大きな火災でも必ず消し止められる
3. 自分の家には置かなくてもよい
4. 消防士が来るのを待たずに使う

問16 家が火事になったり、急に具合が悪くなって救急車を呼びたいときは、何番に電話をかければよいでしょうか。

1. 104番
2. 110番
3. 118番
4. 119番

問17 どうして110番や119番のような特別な電話番号が決められているのでしょうか。その理由として最も正しいものはどれですか。

1. 誰でも簡単に、急いで警察や消防署に助けを求めるため
2. まちの電話番号を少なくするため
3. 電話番号を覚える練習をするため
4. 電話会社が売り上げを増やすため

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 1 火事の発生を早く知らせて、安全に逃げやすくするため	火災報知設備は、火事を見つけたときや煙を感じたときに、周囲の人に素早く危険を伝える役割を持っています。いち早く知らせることで、みんなが早く避難したり、初期消火に取り組んだりできるようになり、被害を最小限に抑えることができます。
問2	答え 4 防犯訓練	学校などの場所で、実際に危険なことが起きたときどのように行動すればよいかを確認する活動を指します。警察官が学校を訪れて指導することもあり、子供たちが犯罪から自分の身を守る力をつけるために行われています。
問3	答え 4 道路標識	道路標識は、道路のわきや上に取りつけられた板（看板）で、車を運転する人や歩いている人に、その場所での決まりや、先に危険があることを知らせて安全を守るためのものです。これらを正しく理解して守ることが、事故を防ぐためにとても大切です。
問4	答え 2 マップの情報をみんなで話し合い、知らせ合うこと	安全マップは作成して終わりではありません。情報をみんなで共有し、地域の人たちと「ここはあぶないかもしれない」「ここは安全だね」と話し合うことで、みんなの防犯意識が高まり、より安全なまちづくりにつながります。
問5	答え 1 工事中	「工事中」の標識がある場所は、道路を直す作業をしていて、いつもよりあぶない状態です。この標識を見ることで、運転する人はスピードを落としたり、周りをよく見て注意して進んだりすることができます。
問6	答え 2 消火活動や救助活動を行い、地域の人を守る	消防団は、消防署と協力して消火活動や救助活動、警戒活動などを行います。地域のことをよく知っている住民たちが協力し合うことで、災害から地域を守る大きな役割を担っています。
問7	答え 4 道に迷った人の案内	交番の警察官は、道案内や落とし物の届け出の受付など、地域の人々が安全で安心してくらせるように手助けをするのが役割です。お店の値段調べや個人の家事などは、公共の安全とは関係がないため、警察の仕事ではありません。
問8	答え 4 水道管が壊れて水が出なくなったときでも、消火活動を続けるため	大きな地震などで水道管が壊れてしまうと、蛇口から水が出なくなることがあります。また、火災が大きくなると大量の水が必要になります。どんな状況でも消火活動を止めないように、あらかじめ一定量の水を蓄えておくことが重要です。
問9	答え 4 巡回連絡（じゅんかいれんらく）	警察官が地域の一軒一軒の家や会社などを直接たずねて、困っていることがないか聞いたり、犯罪や事故に巻き込まれないためのアドバイスをしたりする活動を「巡回連絡」といいます。
問10	答え 3 拾った人の名前や住所などの手続きをする	拾得物（落とし物）が届けられた場合、警察官は落とし主のもとに正しく戻すよう、届け出た人の情報を記録し、ルールに従って手続きを行います。個人の私的な願いをかなえたり、個人情報勝手に教えたりすることは禁止されています。
問11	答え 1 近所の消防署と協力して活動する	消防署にはそれぞれ担当する地域がありますが、手に負えないほど大きな火災や緊急事態が起きたときには、隣の市町村の消防署とも協力して力を合わせ、人々の安全を守る仕組みになっています。
問12	答え 4 火災報知設備	火災報知設備は、火事の発生をいち早く察知して、音や光で周囲に伝えるための大切な装置です。消火器は火を消すための道具であり、避難はしごや非常口は逃げるためのものなので、役割が異なります。
問13	答え 1 緊急時に逃げ込める避難場所となるため	「こども110番の家」の大きな役割は、困ったときに助けを求められる安全な避難場所を提供することです。登下校の見守り活動と合わせて、地域の大人が協力して子どもたちを犯罪や事故から守るための大切な仕組みです。
問14	答え 4 消火栓	消火栓は、道路の下を通っている水道管とつながっており、消防隊がホースをつなぐことで効率よく水を確保できるように作られています。地域の火災被害を広げないために、街のいろいろな場所に設置されています。
問15	答え 4 消防士が来るのを待たずに使う	初期消火は、火がまだ小さく、自分の力で消せそうな段階で行うものです。火が大きくなってしまった場合は、無理をせずにすぐに避難することが大切です。消火器は万が一に備えて、学校や家など身近な場所に備えておく必要があります。
問16	答え 4 119番	火事や救急の際に消防署や救急車を呼ぶための番号は119番です。110番は警察につながる番号なので、間違えないようにしましょう。
問17	答え 1 誰でも簡単に、急いで警察や消防署に助けを求めるため	緊急の出来事は一刻を争うため、迷わずにすぐ連絡できるよう、特別な番号が決められています。これらは市民の命や大切な財産を守るための、非常に重要な仕組みです。

問1 夜や暗い道で自転車のライトをつけるのは、前をてらすことのほかに、どのような大切な理由がありますか。

- | | | | |
|-------------------|----------------|----------------------|-----------------------|
| 1. スピードを出しやすくするため | 2. まわりの虫を集めるため | 3. 自分の自転車をかっこよく見せるため | 4. 車や歩行者に自分の存在を知らせるため |
|-------------------|----------------|----------------------|-----------------------|

問2 地域の人たちと一緒に「安全マップ」を作ることになったとき、マップの中に書き込む内容として正しいものはどれですか。

- | | | | |
|-----------------------------|---------------------|------------------------|------------------------|
| 1. 自分たちだけが知っているよい秘密の場所を書き込む | 2. 危険な場所だけをくわしく書き込む | 3. 安全な場所と危険な場所の両方を書き込む | 4. 自分の家から学校までの道だけを書き込む |
|-----------------------------|---------------------|------------------------|------------------------|

問3 火災が起きたときに、消火器を使って行う「初期消火」について、正しい説明はどれですか。

- | | | | |
|--------------------|---------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 火が建物全体に広がってから使う | 2. 大きな火災でも必ず消し止められる | 3. 自分の家には置かなくてもよい | 4. 消防士が来るのを待たずに使う |
|--------------------|---------------------|-------------------|-------------------|

問4 火災が起きたときに、素早く現場へ駆けつけて消火活動や救助活動を行う施設はどれですか。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 市役所 | 2. 郵便局 | 3. 消防署 | 4. 警察署 |
|--------|--------|--------|--------|

問5 火災や災害が起きたときに、消火や救助活動を行う「消防団」のメンバーは、ふだんはどのような生活をしていますか？

- | | | | |
|-----------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 1. 警察官として地域の見まわりをしている | 2. 消防署に住みこんで、24時間待機している | 3. 会社員や自営業など、別の仕事を持っている | 4. 学校の先生として働いている人だけが集まっている |
|-----------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|

問6 地震や大雨などの災害が起きたとき、警察官が町の人たちの安全を守るために行う活動はどれですか。

- | | | | |
|-------------------------------|---|------------------------|---------------------------------|
| 1. 町の人たちと仲良くなるために、お祭りやイベントを開く | 2. 住民を安全な場所に避難させたり、交通整理をしたりして、みんなの安全を守る | 3. 地震が起きた場所に、記念の看板を立てる | 4. 災害が起きたときの避難訓練の計画を、その場で新しく立てる |
|-------------------------------|---|------------------------|---------------------------------|

問7 警察が地域を巡回して、犯罪が起きないように見守る活動を何といいますか。

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 注意喚起 | 2. 防犯訓練 | 3. 取り調べ | 4. パトロール |
|---------|---------|---------|----------|

問8 街で拾った財布を届け出たとき、交番の警察官が行う対応として適切なものはどれですか。

- | | | | |
|-------------------|-----------------|------------------------|------------------|
| 1. 持ち主の代わりに買い物へ行く | 2. 落とした人の住所を教える | 3. 拾った人の名前や住所などの手続きをする | 4. その場で財布の中身を分ける |
|-------------------|-----------------|------------------------|------------------|

問9 交差点などで車が必ず一時停止をして、右や左から来る車や人がいないか確認しなければならないときに使われる標識はどれですか。

- | | | | |
|---------|---------|--------|--------|
| 1. 横断歩道 | 2. 横断禁止 | 3. 止まれ | 4. 工事中 |
|---------|---------|--------|--------|

問10 家が火事になったり、急に具合が悪くなって救急車を呼びたいときは、何番に電話をかければよいでしょうか。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 104番 | 2. 110番 | 3. 118番 | 4. 119番 |
|---------|---------|---------|---------|

問11 大きな火災が起きて、一つの消防署だけでは足りない場合、消防署はどのような工夫をしますか。

- | | | | |
|--------------------|---------------|----------------|--------------|
| 1. 近所の消防署と協力して活動する | 2. 市役所を新しく建てる | 3. 警察に消火をお願いする | 4. 火が消えるまで待つ |
|--------------------|---------------|----------------|--------------|

問12 警察官が、お年寄りの家などを直接たずねて、犯罪や事故にあわないように気をつけることを伝える活動を何といいますか。

- | | | | |
|---------|----------|-----------|--------------------|
| 1. 防犯訓練 | 2. パトロール | 3. 交通安全運動 | 4. 巡回連絡（じゅんかいれんらく） |
|---------|----------|-----------|--------------------|

問13 町の中に設置されている「消火栓」は、どのような目的で道路沿いなどに作られているのでしょうか。

- | | | | |
|-------------------------|-------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 地面のマンホールが動かないようにするため | 2. 道路の掃除を消防隊が行うため | 3. 飲み水をいつでも自由に飲めるようにするため | 4. 火災のときに消火活動で使う水を確保するため |
|-------------------------|-------------------|--------------------------|--------------------------|

問14 「こども110番の家」のような場所が、地域の防犯において大切な理由として、最も正しいものはどれですか。

- | | | | |
|-----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 緊急時に逃げ込める避難場所となるため | 2. 大人たちが子どもを監視するため | 3. 子どもがおこづかいをもらうため | 4. 地域の家をすべてお店にするため |
|-----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|

問15 警察は、事件が起きてから動くだけでなく、事件を未然に防ぐための活動も大切にしています。学校で子供たちに対して行われる、犯罪から身を守るための練習を何といいますか。

- | | | | |
|---------|----------|-----------|---------|
| 1. 注意喚起 | 2. パトロール | 3. 交通安全教室 | 4. 防犯訓練 |
|---------|----------|-----------|---------|

問16 建物に火災報知設備が設置されている一番の目的は何ですか。

- | | | | |
|------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 火事の発生を早く知らせて、安全に逃げやすくするため | 2. 火を燃え広がらせないため | 3. 消火活動を自動で行うため | 4. 建物の防犯を強化するため |
|------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 4 車や歩行者に自分の存在を知らせるため	自転車のライトには、前をてらして道路の様子を見やすくするだけでなく、車を運転している人や歩いている人に「ここに自転車がありますよ」と自分の存在を知らせる大切な役割があります。これにより、お互いに早く気づくことができ、事故を防ぐことができます。
問2	答え 3 安全な場所と危険な場所の両方を書き込む	安全マップは、あぶない場所だけでなく、人通りが多くて歩きやすい安全な場所も知っておくことが大切です。両方の情報を整理することで、どこを通ればより安心かを知ることができるからです。
問3	答え 4 消防士が来るのを待たずに使う	初期消火は、火がまだ小さく、自分の力で消せそうな段階で行うものです。火が大きくなってしまった場合は、無理をせずにすぐに避難することが大切です。消火器は万が一に備えて、学校や家など身近な場所に備えておく必要があります。
問4	答え 3 消防署	火災が発生した際、一番に駆けつけて火を消したり、困っている人を助けたりするのが消防署の仕事です。警察署は事件や事故の解決、市役所はまちの運営、郵便局は手紙や荷物を届ける役割を持っています。
問5	答え 3 会社員や自営業など、別の仕事を持っている	消防団は、ふだんは自分の仕事を持っている地域の人たちが集まって作られている組織です。火災や災害が発生したときに、消防署と協力して地域の安全を守るために活動します。消防署員のように24時間署に常駐しているわけではありません。
問6	答え 2 住民を安全な場所に避難させたり、交通整理をしたりして、みんなの安全を守る	災害が起きたとき、警察官は、住民を安全な場所に避難させたり、パトロールや道路の交通整理をしたりして、二次災害を防ぎ、みんなの安全を守るために活動します。
問7	答え 4 パトロール	警察官が町の中を歩いたり、車やバイクに乗って見回ったりすることを指します。地域の人々の目に見える場所に警察官がいることで、犯罪をしようとする人を思いとどまらせる効果があります。
問8	答え 3 拾った人の名前や住所などの手続きをする	拾得物（落とし物）が届けられた場合、警察官は落とし主のもとに正しく戻すよう、届け出た人の情報を記録し、ルールに従って手続きを行います。個人の私的な願いをかなえたり、個人情報勝手に教えたりすることは禁止されています。
問9	答え 3 止まれ	「止まれ」という標識は、見通しが悪い交差点などで、車が一度完全に止まって左右の安全を確認するために置かれています。車がいきなり飛び出してくることを防ぎ、事故を減らすためにとても重要な役割をしています。
問10	答え 4 119番	火事や救急の際に消防署や救急車を呼ぶための番号は119番です。110番は警察につながる番号なので、間違えないようにしましょう。
問11	答え 1 近所の消防署と協力して活動する	消防署にはそれぞれ担当する地域がありますが、手に負えないほど大きな火災や緊急事態が起きたときには、隣の市町村の消防署とも協力して力を合わせ、人々の安全を守る仕組みになっています。
問12	答え 4 巡回連絡（じゅんかいれんらく）	警察官が地域の一軒一軒の家や会社などを直接たずねて、困っていることがないか聞いたり、犯罪や事故に巻き込まれないためのアドバイスをしたりする活動を「巡回連絡」といいます。
問13	答え 4 火災のときに消火活動で使う水を確保するため	火災が起きたとき、消防車に積んでいる水だけでは足りなくなることがあります。消火栓は、水道のせんの役割を果たし、水道管から直接水をくみ上げることで、長時間の消火活動を助ける大切な役割を担っています。
問14	答え 1 緊急時に逃げ込める避難場所となるため	「子ども110番の家」の大きな役割は、困ったときに助けを求められる安全な避難場所を提供することです。登下校の見守り活動と合わせて、地域の大人が協力して子どもたちを犯罪や事故から守るための大切な仕組みです。
問15	答え 4 防犯訓練	学校などの場所で、実際に危険なことが起きたときどのように行動すればよいかを確認する活動を指します。警察官が学校を訪れて指導することもあり、子供たちが犯罪から自分の身を守る力をつけるために行われています。
問16	答え 1 火事の発生を早く知らせて、安全に逃げやすくするため	火災報知設備は、火事を見つけたときや煙を感じたときに、周囲の人に素早く危険を伝える役割を持っています。いち早く知らせることで、みんなが早く避難したり、初期消火に取り組んだりできるようになり、被害を最小限に抑えることができます。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 3 消防署	火災が発生した際、一番に駆けつけて火を消したり、困っている人を助けたりするのが消防署の仕事です。警察署は事件や事故の解決、市役所はまちの運営、郵便局は手紙や荷物を届ける役割を持っています。
問2	答え 3 パトロール	警察官は、事件や事故を未然に防ぐために、町の中をくまなく見回るパトロールを行っています。この活動によって、地域の住民が安心して暮らせる環境が守られています。
問3	答え 4 道に迷った人の案内	交番の警察官は、道案内や落とし物の届け出の受付など、地域の人々が安全で安心してくらするように手助けをするのが役割です。お店の値段調べや個人の家事などは、公共の安全とは関係がないため、警察の仕事ではありません。
問4	答え 1 近所の消防署と協力して活動する	消防署にはそれぞれ担当する地域がありますが、手に負えないほど大きな火災や緊急事態が起きたときには、隣の市町村の消防署とも協力して力を合わせ、人々の安全を守る仕組みになっています。
問5	答え 4 消防士が来るのを待たずに使う	初期消火は、火がまだ小さく、自分の力で消せそうな段階で行うものです。火が大きくなってしまった場合は、無理をせずにすぐに避難することが大切です。消火器は万が一に備えて、学校や家など身近な場所に備えておく必要があります。
問6	答え 3 安全な場所と危険な場所の両方を書き込む	安全マップは、あぶない場所だけでなく、人通りが多くて歩きやすい安全な場所も知っておくことが大切です。両方の情報を整理することで、どこを通ればより安心かを知ることができるからです。
問7	答え 3 ヘルメット	自転車は車と同じ「車両」の仲間なので、万が一の事故の際に頭を守るためのヘルメットの着用がとても大切です。ヘルメットを正しくかぶることで、大きなけがを防ぐことができます。
問8	答え 3 拾った人の名前や住所などの手続きをする	拾得物（落とし物）が届けられた場合、警察官は落とし主のもとに正しく戻すよう、届け出た人の情報を記録し、ルールに従って手続きを行います。個人の私的な願いをかなえたり、個人情報勝手に教えたりすることは禁止されています。
問9	答え 4 火の広がりや部屋から部屋へ防ぐ	防火とびらは、万が一建物の中で火災が起きたとき、火や煙が他の部屋や階に燃え移るのを物理的に食い止めるために設置されています。これにより、人々が安全に外へ逃げるための時間を稼ぐという大切な役割があります。
問10	答え 4 車や歩行者に自分の存在を知らせるため	自転車のライトには、前をてらして道路の様子を見やすくするだけでなく、車を運転している人や歩いている人に「ここに自転車がありますよ」と自分の存在を知らせる大切な役割があります。これにより、お互いに早く気づくことができ、事故を防ぐことができます。
問11	答え 4 巡回連絡（じゅんかいれんらく）	警察官が地域の一軒一軒の家や会社などを直接たずねて、困っていることがないか聞いたり、犯罪や事故に巻き込まれないためのアドバイスをしたりする活動を「巡回連絡」といいます。
問12	答え 1 工事中	「工事中」の標識がある場所は、道路を直す作業をしていて、いつもよりあぶない状態です。この標識を見ることで、運転する人はスピードを落としたり、周りをよく見て注意して進んだりすることができます。
問13	答え 3 火災のときに使うための水をためておく場所	防火水そうは、火災が発生したときに消防隊が消火活動に使うための水をあらかじめ蓄えておく施設です。水道管の水だけでは足りない場合や、近くに川がない場所でも安定して水を使えるようにするために、地域の大切な防災設備として設置されています。
問14	答え 4 火災報知設備	火災報知設備は、火事の発生をいち早く察知して、音や光で周囲に伝えるための大切な装置です。消火器は火を消すための道具であり、避難はしごや非常口は逃げるためのものなので、役割が異なります。
問15	答え 1 緊急時に逃げ込める避難場所となるため	「子ども110番の家」の大きな役割は、困ったときに助けを求められる安全な避難場所を提供することです。登下校の見守り活動と合わせて、地域の大人が協力して子どもたちを犯罪や事故から守るための大切な仕組みです。
問16	答え 1 火事の発生を早く知らせて、安全に逃げやすくするため	火災報知設備は、火事を見つけたときや煙を感じたときに、周囲の人に素早く危険を伝える役割を持っています。いち早く知らせることで、みんなが早く避難したり、初期消火に取り組んだりできるようになり、被害を最小限に抑えることができます。
問17	答え 4 119番	火事や救急の際に消防署や救急車を呼ぶための番号は119番です。110番は警察につながる番号なので、間違えないようにしましょう。

問1 大きな火災が起きて、一つの消防署だけでは足りない場合、消防署はどのような工夫をしますか。

1. 近所の消防署と協力して活動する 2. 市役所を新しく建てる 3. 警察に消火をお願いする 4. 火が消えるまで待つ

問2 作成した「安全マップ」を完成させたあと、地域全体の防犯のために最も大切なことは何ですか。

1. マップを自分だけの宝物として大切にしまうこと 2. マップの情報をみんなで話し合い、知らせ合うこと 3. マップを学校の校庭のすみっこに埋めること 4. マップを一度作ったら、もう内容を変えないこと

問3 自転車に乗るとき、自分の命を守るために特におすすめされているものはどれですか。

1. ひざのプロテクター 2. サングラス 3. ヘルメット 4. うでのサポーター

問4 多くの地域では、もしもの火災にそなえて「防火水そう」が設置されています。どうして、ただの水道管だけでなく防火水そうが必要なのでしょう。

1. 水道の水をそのまま使うと、消防車のポンプが壊れてしまうから 2. 消防車が水を補給する場所を町中にたくさん作るため 3. 防火水そうのほうが、水道の水よりも火を消す力が強いから 4. 水道管が壊れて水が出なくなったときでも、消火活動を続けるため

問5 道路を直す作業をしていて、いつもよりあぶない場所であることを運転する人に知らせる標識はどれですか。

1. 工事中 2. 横断禁止 3. 止まれ 4. 横断歩道

問6 火災が起きたとき、消防車が消火活動に使う水を「水道管」から取り出すための設備を何といいますか。

1. 避難はしご 2. スプリンクラー 3. 防火水そう 4. 消火栓

問7 町の中に設置されている「消火栓」は、どのような目的で道路沿いなどに作られているのでしょうか。

1. 地面のマンホールが動かないようにするため 2. 道路の掃除を消防隊が行うため 3. 飲み水をいつでも自由に飲めるようにするため 4. 火災のときに消火活動で使う水を確保するため

問8 夜や暗い道で自転車のライトをつけるのは、前をてらすことのほかに、どのような大切な理由がありますか。

1. スピードを出しやすくするため 2. まわりの虫を集めるため 3. 自分の自転車をかっこよく見せるため 4. 車や歩行者に自分の存在を知らせるため

問9 どうして110番や119番のような特別な電話番号が決められているのでしょうか。その理由として最も正しいものはどれですか。

1. 誰でも簡単に、急いで警察や消防署に助けを求めるため 2. まちの電話番号を少なくするため 3. 電話番号を覚える練習をするため 4. 電話会社が売り上げを増やすため

問10 建物に火災報知設備が設置されている一番の目的は何ですか。

1. 火事の発生を早く知らせて、安全に逃げやすくするため 2. 火を燃え広がらせないため 3. 消火活動を自動で行うため 4. 建物の防犯を強化するため

問11 街で拾った財布を届け出たとき、交番の警察官が行う対応として適切なものはどれですか。

1. 持ち主の代わりに買い物へ行く 2. 落とした人の住所を教える 3. 拾った人の名前や住所などの手続きをする 4. その場で財布の中身を分ける

問12 火災や災害が起きたときに、消火や救助活動を行う「消防団」のメンバーは、ふだんどのような生活をしていますか？

1. 警察官として地域の見まわりをしている 2. 消防署に住みこんで、24時間待機している 3. 会社員や自営業など、別の仕事を持っている 4. 学校の先生として働いている人だけが集まっている

問13 地震や大雨などの災害が起きたとき、警察官が町の人たちの安全を守るために行う活動はどれですか。

1. 町の人たちと仲良くなるために、お祭りやイベントを開く 2. 住民を安全な場所に避難させたり、交通整理をしたりして、みんなの安全を守る 3. 地震が起きた場所に、記念の看板を立てる 4. 災害が起きたときの避難訓練の計画を、その場で新しく立てる

問14 警察は、事件が起きてから動くだけでなく、事件を未然に防ぐための活動も大切にしています。学校で子供たちに対して行われる、犯罪から身を守るための練習を何といいますか。

1. 注意喚起 2. パトロール 3. 交通安全教室 4. 防犯訓練

問15 道路のわきや上に取りつけられている、絵や文字を使って、ルールや危険を伝えるための板（看板）のような目印を何といいますか。

1. 交通ルール 2. 信号機 3. 安全パトロール 4. 道路標識

問16 ビルや学校の階段の近くで見かけることがある「防火とびら」の主な目的は何ですか。

1. 重い荷物を運ぶための通路にする 2. 外からの泥棒が入るのを防ぐ 3. 部屋をきれいに保つために仕切る 4. 火の広がりを部屋から部屋へ防ぐ

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 1 近所の消防署と協力して活動する	消防署にはそれぞれ担当する地域がありますが、手に負えないほど大きな火災や緊急事態が起きたときには、隣の市町村の消防署とも協力して力を合わせ、人々の安全を守る仕組みになっています。
問2	答え 2 マップの情報をみんなで話し合い、知らせ合うこと	安全マップは作成して終わりではありません。情報をみんなで共有し、地域の人たちと「ここはあぶないかもしれない」「ここは安全だね」と話し合うことで、みんなの防犯意識が高まり、より安全なまちづくりにつながります。
問3	答え 3 ヘルメット	自転車は車と同じ「車両」の仲間なので、万が一の事故の際に頭を守るためのヘルメットの着用がとても大切です。ヘルメットを正しくかぶることで、大きなけがを防ぐことができます。
問4	答え 4 水道管が壊れて水が出なくなったときでも、消火活動を続けるため	大きな地震などで水道管が壊れてしまうと、蛇口から水が出なくなることがあります。また、火災が大きくなると大量の水が必要になります。どんな状況でも消火活動を止めないよう、あらかじめ一定量の水を蓄えておくことが重要です。
問5	答え 1 工事中	「工事中」の標識がある場所は、道路を直す作業をしていて、いつもよりあぶない状態です。この標識を見ることで、運転する人はスピードを落としたり、周りをよく見て注意して進んだりすることができます。
問6	答え 4 消火栓	消火栓は、道路の下を通っている水道管とつながっており、消防隊がホースをつなぐことで効率よく水を確保できるように作られています。地域の火災被害を広げないために、街のいろいろな場所に設置されています。
問7	答え 4 火災のときに消火活動で使う水を確保するため	火災が起きたとき、消防車に積んでいる水だけでは足りなくなることがあります。消火栓は、水道のせんの役割を果たし、水道管から直接水をくみ上げることで、長時間の消火活動を助ける大切な役割を担っています。
問8	答え 4 車や歩行者に自分の存在を知らせるため	自転車のライトには、前をてらして道路の様子を見やすくするだけでなく、車を運転している人や歩いている人に「ここに自転車がありますよ」と自分の存在を知らせる大切な役割があります。これにより、お互いに早く気づくことができ、事故を防ぐことができます。
問9	答え 1 誰でも簡単に、急いで警察や消防署に助けを求めるため	緊急の出来事は一刻を争うため、迷わずにすぐ連絡できるよう、特別な番号が決められています。これらは市民の命や大切な財産を守るための、非常に重要な仕組みです。
問10	答え 1 火事の発生を早く知らせて、安全に逃げやすくするため	火災報知設備は、火事を見つけたときや煙を感じたときに、周囲の人に素早く危険を伝える役割を持っています。いち早く知らせることで、みんなが早く避難したり、初期消火に取り組んだりできるようになり、被害を最小限に抑えることができます。
問11	答え 3 拾った人の名前や住所などの手続きをする	拾得物（落とし物）が届けられた場合、警察官は落とし主のもとに正しく戻すよう、届け出た人の情報を記録し、ルールに従って手続きを行います。個人の私的な願いをかなえたり、個人情報勝手に教えたりすることは禁止されています。
問12	答え 3 会社員や自営業など、別の仕事を持っている	消防団は、ふだんは自分の仕事を持っている地域の人たちが集まって作られている組織です。火災や災害が発生したときに、消防署と協力して地域の安全を守るために活動します。消防署員のように24時間署に常駐しているわけではありません。
問13	答え 2 住民を安全な場所に避難させたり、交通整理をしたりして、みんなの安全を守る	災害が起きたとき、警察官は、住民を安全な場所に避難させたり、パトロールや道路の交通整理をしたりして、二次災害を防ぎ、みんなの安全を守るために活動します。
問14	答え 4 防犯訓練	学校などの場所で、実際に危険なことが起きたときどのように行動すればよいかを確認する活動を指します。警察官が学校を訪れて指導することもあり、子供たちが犯罪から自分の身を守る力をつけるために行われています。
問15	答え 4 道路標識	道路標識は、道路のわきや上に取りつけられた板（看板）で、車を運転する人や歩いている人に、その場所での決まりや、先に危険があることを知らせて安全を守るためのものです。これらを正しく理解して守ることが、事故を防ぐためにとても大切です。
問16	答え 4 火の広がりやを部屋から部屋へ防ぐ	防火とびらは、万が一建物の中で火災が起きたとき、火や煙が他の部屋や階に燃え移るのを物理的に食い止めるために設置されています。これにより、人々が安全に外へ逃げるための時間を稼ぐという大切な役割があります。